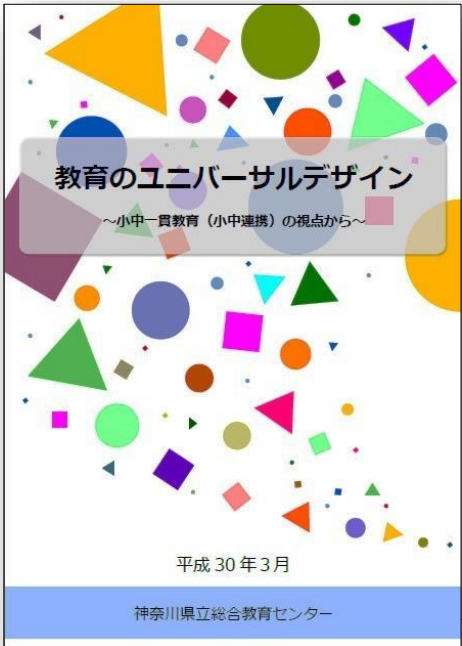


中学校区ぐるみで子どもに寄り添う支援を

教育のユニバーサルデザイン ～小中一貫教育(小中連携)の視点から～



教育のユニバーサルデザインとは何でしょうか？
 どのような取組が効果的でしょうか？
 小中一貫教育(小中連携)の視点から
 16のQ&Aで紹介しました。
 基本的な内容から紹介していますので、
 他校種や学級ごとの取組においてもヒントになります。

- Q 3 ユニバーサルデザインの視点を取り入れる意義は？
 (1章 教育のユニバーサルデザインと
 小中一貫教育(小中連携))
- Q 6 構成的グループエンカウターのエクササイズと
 対人関係ゲームとの違いは？
 (2章 人的環境のユニバーサルデザイン化)
- Q 11 小中一貫教育(小中連携)の取組において、
 授業のユニバーサルデザイン化を図るには？
 (4章 授業のユニバーサルデザイン化)
- Q 13 取組を始めるに当たり、最初に大切なことは？
 (5章 組織的な取組の推進)

4章 授業のユニバーサルデザイン化

Q10 授業のユニバーサルデザイン化って何？

A 通常の学級にいる全員の児童・生徒が楽しく学び合い『わかる・できる』ことを目指して、授業づくりを進めることです。

小貫徳氏、桂聖氏は、授業のユニバーサルデザイン化における学びの階層を「参加」、「理解」、「習得」、「活用」の4段階に分類し、授業でのバリエーションを生じさせる発達障害のある子の特徴と授業でのバリエーションを除く工夫を整理しています。

なお、4段階の階層のうち、「参加」及び「理解」は主に半単位時間の授業、「習得」は複数の学年や単元の学習、「活用」は日常生活や発展的課題に関する内容になります。

Q11 小中一貫教育(小中連携)の取組において、
 授業のユニバーサルデザイン化を図るには？

A 各学級担任や教科担任等が創意工夫を共有するとともに、
 カリキュラム編成や目指す子ども像の設定をするにも配慮します。

各学級担任や教科担任等が「参加」、「理解」に関わる取組を創意工夫して結果を共有するとともに、「習得」、「活用」を目指して9年間を見通したカリキュラム編成を行うことが大切です。なお、「活用」に関しては、小・中学校で目指す子ども像を設定する際にも配慮します。

出典：桂聖、石澤隆二「実践小中一貫教育」頁上巻：日本発達障がい学会編 2017『授業のユニバーサルデザイン Vol.10』東洋館出版
 ※ 『授業のユニバーサルデザイン』を参考に編集・修正して作成

- 7 -

4章 授業のユニバーサルデザイン化

Q12 それぞれの創意工夫を、
 どのようにして共有するの？

A ネットワーク環境を活用して資料の共有化を進めたり、
 小・中学校合同で研究授業を行って実際の指導の様子を見合ったり
 します。

Tips 4

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり

小・中学校合同で研究授業を行う場合、あらかじめ授業づくりの視点をリスト化しておく、その後の協議が活性化されます。その際、単なる授業の統一化になってしまわないためには、共通して設定する項目と、それぞれの授業者が個別に設定する項目を組み合わせたものも考えられます。

チェックリスト		
校内統制 授業の標準	A	① 「導入」「展開」「まとめ」に一貫性があった。
	B	② 学習活動の時間配分は、児童・生徒によって適切だった。
	C	③ 学習形態(個人・ペア・グループ)は、児童・生徒によって効果的だった。
	D	④ 課題の解決に向けたいくつかの支援は、児童・生徒によって効果的だった。
個別支援 指導方法	A	⑤ 課題の解決は、児童・生徒によって適切だった。
	B	⑥ 授業は、授業の進め方や内容を児童・生徒によって調整されていた。
	C	⑦ 授業は、ノートやワークシートとの関連が図られていた。
	D	⑧ 教材や教員は、課題解決の支援として効果的なものだった。
個別支援 指導方法	A	⑨ 話し方は、スピードや聞き取りやすさを考慮してあった。
	B	⑩ 話し方は、短文を用いて要点が明確だった。
	C	⑪ 説明や指示の際は、授業情報以外の情報も併用していた。
	D	⑫ 説明や指示の際は、複数の表現を使い具体的な表現を使っていた。
個別支援 指導方法	A	⑬ 説明や指示の際は、一指示一活動を中心に行っていた。
	B	⑭ 本時の学習の意義を児童・生徒が理解することができた。
	C	⑮ 授業の進め方を通して「方向性」が与えられた。
	D	⑯ 児童・生徒の学習の意欲を高めることができた。
個別支援 指導方法	A	⑰ 児童・生徒の理解を促すことができた。
	B	⑱ 児童・生徒の理解を促すことができた。
	C	⑲ 児童・生徒の理解を促すことができた。
	D	⑳ 授業の最後は「わかった」という言葉を発することができた。

出典：神奈川教育センター 2017『授業のユニバーサルデザインスタートブックQ&A55』東洋館出版
 ※ 一部編集・修正して作成

- 8 -

興味のある方はこちらをご覧ください。

